

## 1. 略歴

1997年3月	東京大学文学部思想文化学科宗教学宗教史学専修課程 卒業
1997年4月	東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻宗教学宗教史学専門分野修士課程 入学
1999年3月	東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻宗教学宗教史学専門分野修士課程 修了
1999年4月	東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻宗教学宗教史学専門分野博士課程 進学
2001年4月	日本学術振興会特別研究員 DC2 (東京大学、至2003年3月)
2002年3月	東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻宗教学宗教史学専門分野博士課程 単位取得退学
2003年4月	日本学術振興会特別研究員 PD (九州大学、至2004年3月)
2004年4月	鹿児島大学法文学部人文学科助教授
2007年4月	鹿児島大学法文学部人文学科准教授
2013年4月	東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻宗教学宗教史学専門分野准教授

## 2. 主な研究活動

### a 専門分野

宗教史学・宗教人類学・宗教民俗学、慰霊・死者儀礼の継承、日本と太平洋域の宗教文化

主な研究活動は大きく以下の3つのテーマ群についてである。

(A)戦争や災害による犠牲者に対する態度、(B)現代の地域社会における宗教生活と日常生活の関係性、(C)島嶼と半島におけるダイナミックな人的交流と宗教接触

### b 研究課題

具体的な研究課題は以下のとおりである。

#### (1) 「(A) 戦争や災害による犠牲者に対する態度」に関わる研究

遺骨収集・戦地慰霊において、遺族や戦友といった戦死者を取り巻く直接的関係者ばかりではなく、宗教者・旅行者・行政といった第三者がどのように関与するかをめぐると、次世代へどのように継承されようとしているかをめぐるとして調査・考察を行っている。その際、日本人による遺骨収集や戦地慰霊の状況と米豪や太平洋諸島の状況との国際比較、次世代継承に関する宗教体験の伝承や宗教組織の継承などとの比較、戦地慰霊に関する聖地巡礼との比較を行っている。

#### (2) 「(B) 近現代の地域社会における宗教生活と日常生活の関係性」に関わる研究

九州をおもなフィールドとして、近現代の地域社会のなかで人びとがどのような信仰実践や宗教的行為を行ったかについて、そうした実践を支える日常生活とともに調査・考察している。とりわけ、民俗社会を基盤とした地域が、戦争や公害、自然災害などの歴史的経験からのレジリエンス（回復力）をどのように発揮しているかということについて、博士論文で取り上げた長崎の原爆慰霊を視野に入れながら考察しようとしている。

#### (3) 「(C) 島嶼と半島におけるダイナミックな人的交流と宗教接触」に関わる研究

奄美群島とマイクロネシア地域を主な対象としながら、大航海時代以降のヨーロッパ人のグローバルな移動に端を発する人的な交流の活発化のなかで宗教的接触状況が地域の宗教性のあり方にどのような影響を及ぼしているのかについて比較宗教的な理解を目指している。

### c 概要と自己評価

(1)は博士論文の研究課題の延長上にあるものだが、対象地域の拡大と継承という宗教学的テーマへの深化を図りつつある状況である。2010～12年度に代表を務めた科研費基盤研究と、2012年度に滞在したハワイ大学での研究によって研究内容も研究ネットワークもさらなる展望が開けつつある。

(2)(3)はさまざまな研究プロジェクトへの関わりから徐々に輪郭が浮かびつつある、ポスト博士論文の研究テーマであるが、現状としては単発のモノグラフや翻訳の作業にとどまっている。しかし将来的には九州を窓口としてアジア・太平洋域を視野に入れた日本宗教史の構想につながる研究であるという認識で進めている。

## d 主要業績

### (1) 著書

共編著、竹内勝徳・藤内哲也・西村明編、『クロスボーダーの地域学』、南方新社、2011.2

共訳書、デイヴィッド・チデスター著、沈善瑛・西村明訳、『サベッジ・システム—植民地主義と比較宗教』、青木書店、2010.11

### (2) 論文

西村明、「記憶のパフォーマティヴィティ—犠牲的死がひらく未来—」、池澤優・アンヌ ブッシィ編『非業の死の記憶—大量の死者をめぐる表象のポリテクス—』東京大学大学院人文社会系研究科、91-103 頁、2010.3

K. Kawai, S. Kuwahara, M. Onjo, S. Noda, A. Nishimura, S. Tominaga, S. Nagashima, "The Influence of Environmental Changes on the Micronesian Area: A Case Study of Islands in Pohnpei State, Federated States of Micronesia," *South Pacific Studies* (Research Center for the Pacific Islands, Kagoshima University), 30/2, pp.23-43, 2010.3

西村明、「奄美から考える環境—奄美型環境モデルのために—」鹿児島大学 鹿児島環境学研究会編『鹿児島環境学 II』南方新社、47-61 頁、2010.9

西村明、「『奄美の原爆乙女』、その後」竹内勝徳・藤内哲也・西村明編『クロスボーダーの地域学』、南方新社、107-120 頁、2011.2

Akira Nishimura, "La Performativité de la Mémoire: Quand le Future est Fondé sur la Mort de Victims" (Traduit par Takizawa Meiko), Anne Bouchy et Ikezawa Masaru(edu.), *La Mort Collective et le Politique: Constructions Mémoires et Ritualisations*, Graduate School of Humanities and Sociology, The University of Tokyo, pp.93-104, 2011.3

西村明、「徳之島と戦争死者—戦局・環境複合の慰霊論—」、鹿児島大学 鹿児島環境学研究会編『鹿児島環境学 III』、南方新社、132-150 頁、2011.9

"Battlefield Pilgrimage and Performative Memory: Contained Souls of Soldiers in Sites, Ashes, and Buddha Statues," *Memory Connection Journal* (web journal), 1/1, pp.303-311, 2011.12

西村明、「永井隆における原爆災禍—従軍体験と職業被曝に注目して」、『宗教研究』、86(2)、369-391 頁、2012.9

### (3) 学会発表

国内、西村明、「戦死者慰霊研究における孝本貢の業績と残された課題」、日本宗教学会パネル「宗教の規範性・公共性・情念—孝本貢の業績をめぐる—」、東洋大学、2010.9.4

国際、Akira Nishimura, "Battlefield Pilgrimage and Performative Memory: Contained Souls of Soldiers in Sites, Ashes, and Buddha Statues", Contained Memory Conference, Museum of New Zealand Te Papa Tongarewa, 2010.12.10

国内、西村明、「奄美・南薩地域と戦争死者慰霊」、日本宗教学会、関西学院大学、2011.9.3

国際、Akira Nishimura, "Dead Immigrants in Small Islands and the Pilgrimages," Transnationalism and Social Change in Small Islands: A View from Population Perspectives, Research Centre for Population, Indonesian Institute of Sciences, 2012.3.20

国内、西村明、「歴史の闇を観る—観光都市長崎における原爆慰霊の位置」、「宗教と社会」学会テーマセッション「慰霊とツーリズム」、長崎国際大学、2012.6.17

国際、Akira Nishimura, "Religious Sector's Commitment to the Battlefield Pilgrimage in Postwar Japan" in World War II and Religion Conference, Florida State University, 2012.12.1

### (4) 研究テーマ

文部科学省科学研究費補助金、西村明、代表者、「戦争死者慰霊の関与と継承に関する国際比較研究」、2010~2012

文部科学省科学研究費補助金、西村明、分担者、「軍事郵便がもたらした体験の共有化と大衆化に関する研究—戦地・銃後から戦後への記憶の継承—」（代表者：新井勝紘）2011~2013

文部科学省科学研究費補助金、西村明、分担者、「水俣病事件における「再生する力」の社会・宗教・民俗学的研究」（代表者：萩原修子）2012~2014

文部科学省科学研究費補助金、西村明、分担者、「戦後言説空間として敗北側における戦争解釈と追悼の国際比較研究」（代表者：M.G Sheftall）2012~2016

文部科学省科学研究費補助金、西村明、連携研究者、「幸福の宗教学：一地方都市の「福分」と「無事」をめぐる基礎的調査研究」（代表者：関一敏）2013~2015

### 3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

非常勤講師、鹿児島国際大学、「宗教論」、2007.4～2013.3

共同研究員、国立歴史民俗博物館、2010～2012

(2) 学会

「宗教と社会」学会、常任委員、2009.6～2011.6、2013.6～

西日本宗教学会、運営委員、2010.7～

西日本宗教学会、編集委員、2011.3～

(3) 行政

福岡市史編集委員会、民俗専門部会専門委員、2005.7～

(4) その他

一般財団法人メディポリス医療財団シーピーシー治験病院、治験審査委員、2008.4～